

地方公共団体実行計画(区域施策編)勉強会

住まいのゼロカーボン推進事業

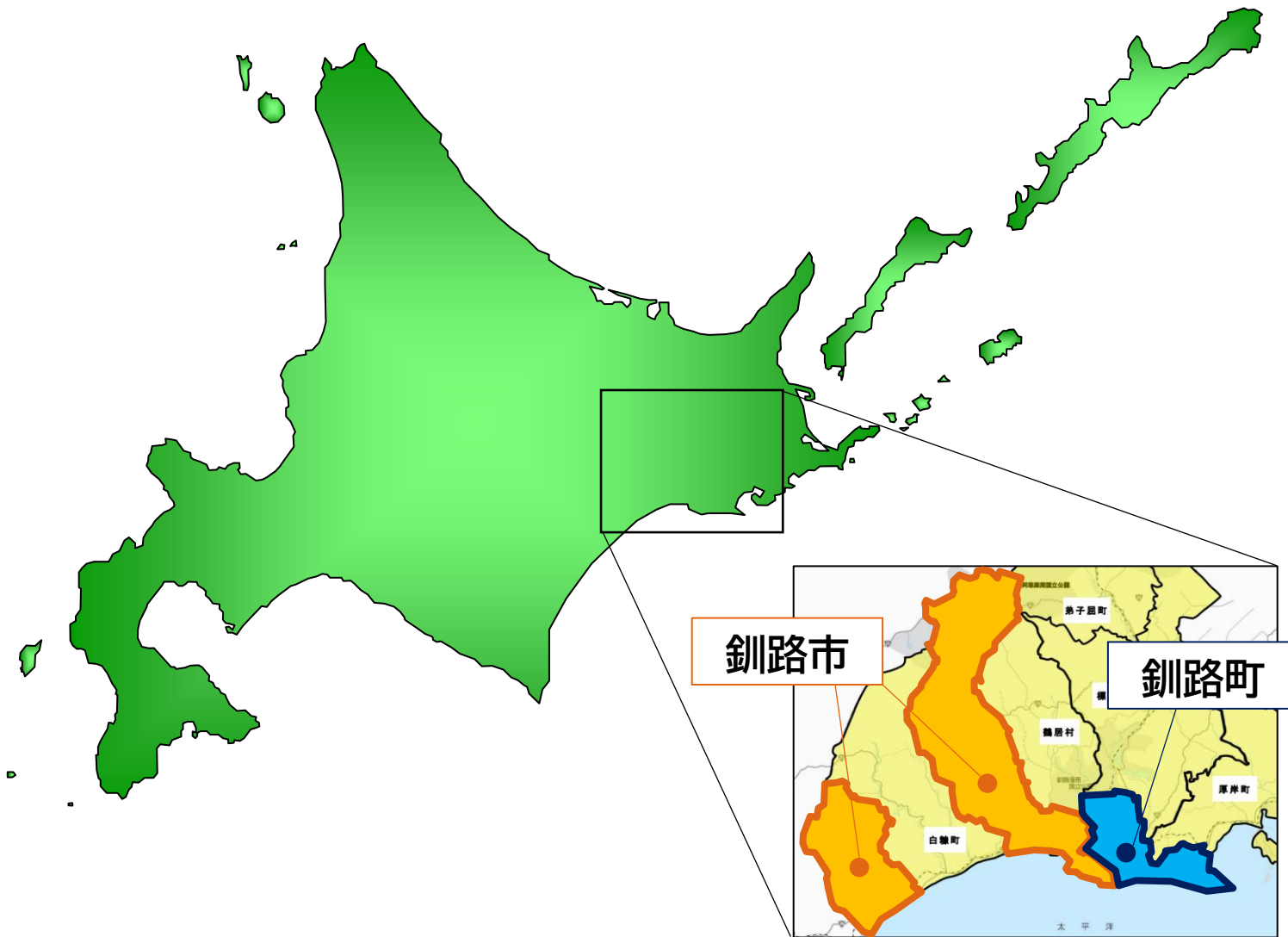
2024.8.20(水)
釧路町環境生活課環境政策係

自己紹介

氏 名	伊東 佳基(いとう よしき) 35歳	
所 属	釧路町役場 環境生活課 環境政策係(ゼロカーボン政策)	
職 歴	<ul style="list-style-type: none">・ 環境保全担当 3年 (国立公園、空き地管理)・ まちづくり政策担当 3年 (総合企画調整)・ 税務担当 5年 (住民税賦課、固定資産税賦課)・ ふるさと納税担当 1年 (ふるさと納税)・ 社会教育担当 2年 (スポーツ少年団、長ぐつアイスホッケー)・ 北海道派遣 2年 (北海道地球温暖化防止対策条例改正担当 1年) (ゼロカーボン市町村支援担当 1年)・ 環境政策担当 1年 (ゼロカーボン政策) ←今ここ	
趣 味	フットサル、ランニング、旅行	



釧路町の概況



釧路町の概況

人 口	18,466人 (R6.3.31)
世 帯 数	9,624 世帯 (R6.3.31)
面 積	254.15平方キロメートル
最高気温	31.5℃ (H22.6.26)
最低気温	-17.8℃ (H10.1.8)

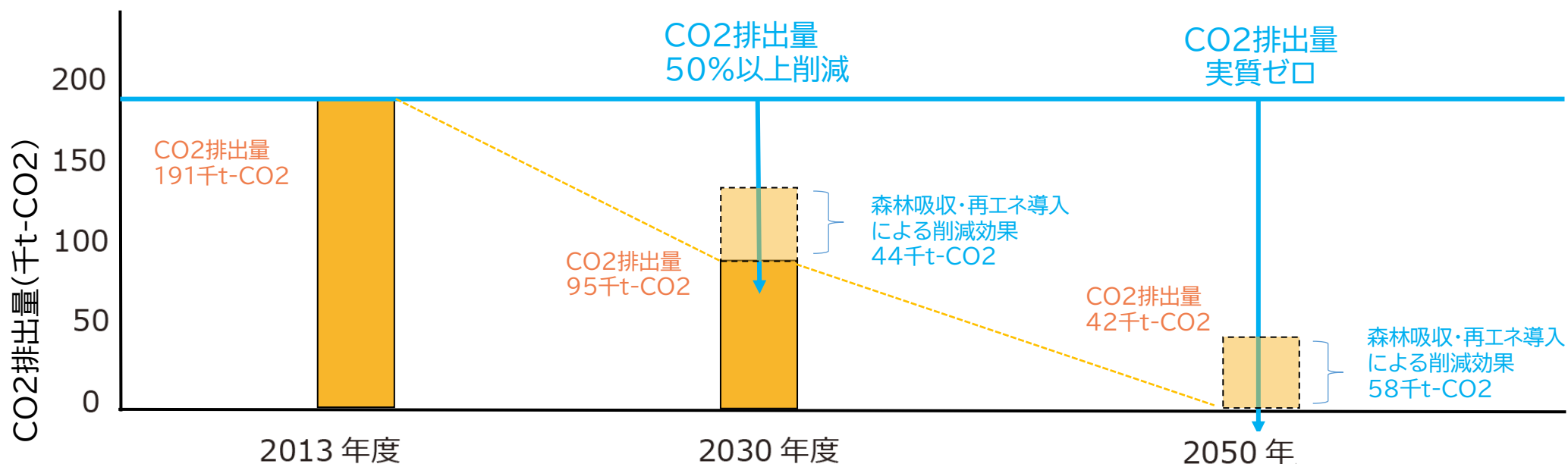
※釧路地方気象台データ



釧路町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）削減目標

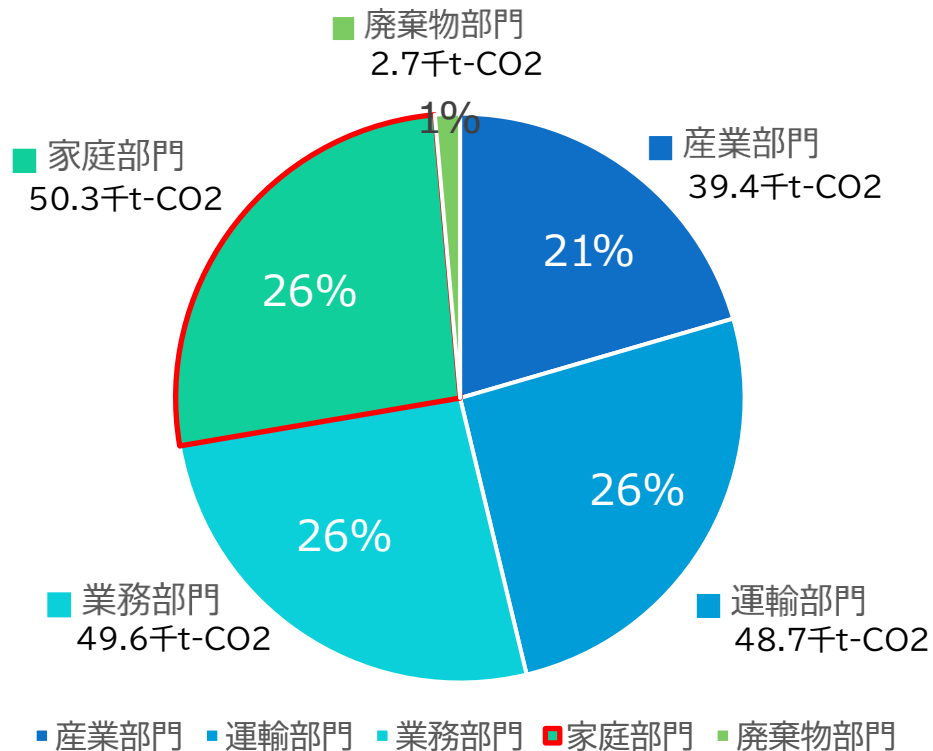
- ・ 2030年度に2013年度比でCO2排出量実質50%を目指し、さらなる高みに向け挑戦する
- ・ 2050年までにCO2排出量実質0%のゼロカーボンシティを実現

脱炭素シナリオ



住まいのゼロカーボン化推進事業を活用する目的

2013年度における部門別のCO2排出量割合



計 191千t-CO2

家庭部門の削減に寄与しながら…
住民の暮らしの質を向上

住まいのゼロカーボン化推進事業 制度概要

概要

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、住宅や集会所等の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入促進に取り組む市町村を支援する。

現状の課題

- 積雪寒冷な本道では、暖房用のエネルギー使用が多いため、家庭部門の温室効果ガス排出割合が全国に比べて高い
(道：23%、全国平均：15%) 【北海道地球温暖化計画】
- 道内住宅の太陽光発電設備の設置率は全国最低
(道：1.3%、全国平均：4.1%) 【H30住宅・土地統計調査】

対応方針

- ・道内市町村の脱炭素化に寄与する取組を促進し、全道へ波及を図る
- 住宅の脱炭素化を目的とする補助事業を実施する市町村を支援
- 集会場等の多くの人が利用する施設に対し、省エネ改修等を実施する市町村を支援

住宅のゼロカーボン化に向けた地域支援

事業概要

区分	補助対象事業	補助対象者 (札幌市を除く)	対象施設	補助額	効果促進 の取組
新築	北方型住宅 ZEROの新築・購入	補助事業を実施する市町村	住宅	市町村補助額の1/2 (上限：225千円)	完成住宅見学会
改修	省エネ 開口部・躯体等の断熱改修、 高効率設備等	ゼロカーボンシティ宣言し対象の補助事業を実施する市町村	住宅	市町村補助額の1/2 (上限：250千円)	代表的事例を納めた事例集作成
			集会場等	市町村補助額の1/2 (上限：450千円)	CO ₂ 削減等のPRパネルを掲示
	再エネ 太陽光パネル、蓄電池の設備導入		住宅	市町村補助額の1/2 (上限：150千円)	代表的事例を納めた事例集作成
			集会場等	市町村補助額の1/2 (上限：300千円)	CO ₂ 削減等のPRパネルを掲示

効果

- 補助制度の創設や補助対象の拡充など市町村の取組を促進
- 省エネ改修等の新たな需要を喚起

釧路町では
ここを制度化
(集会場は除く)

釧路町デコ活推進補助金 事業概要

釧路町
デコ活推進補助金5/20(月)
受付開始
※ 先着順

釧路町ではゼロカーボンシティを実現
するため新たな補助制度を創設しました。
再エネ機器の導入、住宅の改修などを支援します。



1

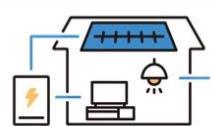
交付対象者

町民または町民となる見込みの者
※導入完了報告書提出時に住民票が釧路町にあること

2

補助メニュー

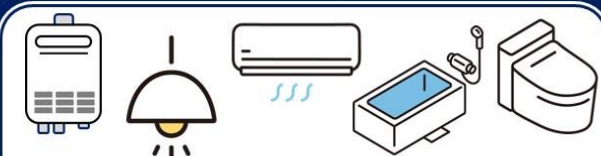
※釧路市、釧路町に本店、支店、営業所等の事業所を
有する事業者による工事限定



【太陽光発電・蓄電池】



【住宅の省エネ改修】



【高効率機器の導入】

太陽光発電

一戸あたり最大で **30万円※1** 補助率 **1/2** 以内

※新築の場合は、上限15万円

<設備の要件>

- ☐ 蓄電池と接続し、自家消費できる
- ☐ 合計出力が10kW未満
- ☐ 余剰配線(自家消費で余った電力を売電できる)
- ☐ 電力会社の系統に接続できる
- ☐ 未使用品

蓄電池(定置型)

一戸あたり最大で **10万円※1** 補助率 **1/2** 以内

<設備の要件>

- ☐ 太陽光パネルと接続し、その発電分を利用できるリチウムイオン蓄電池
- ☐ 蓄電容量が17.76kWh未満
- ☐ 電力会社の系統に接続できる
- ☐ 未使用品

性能向上リフォーム(省エネ改修、高効率機器導入)

一戸あたり最大で **40万円※1** 補助率 **1/2** 以内

<対象工事>(複数選択可能)

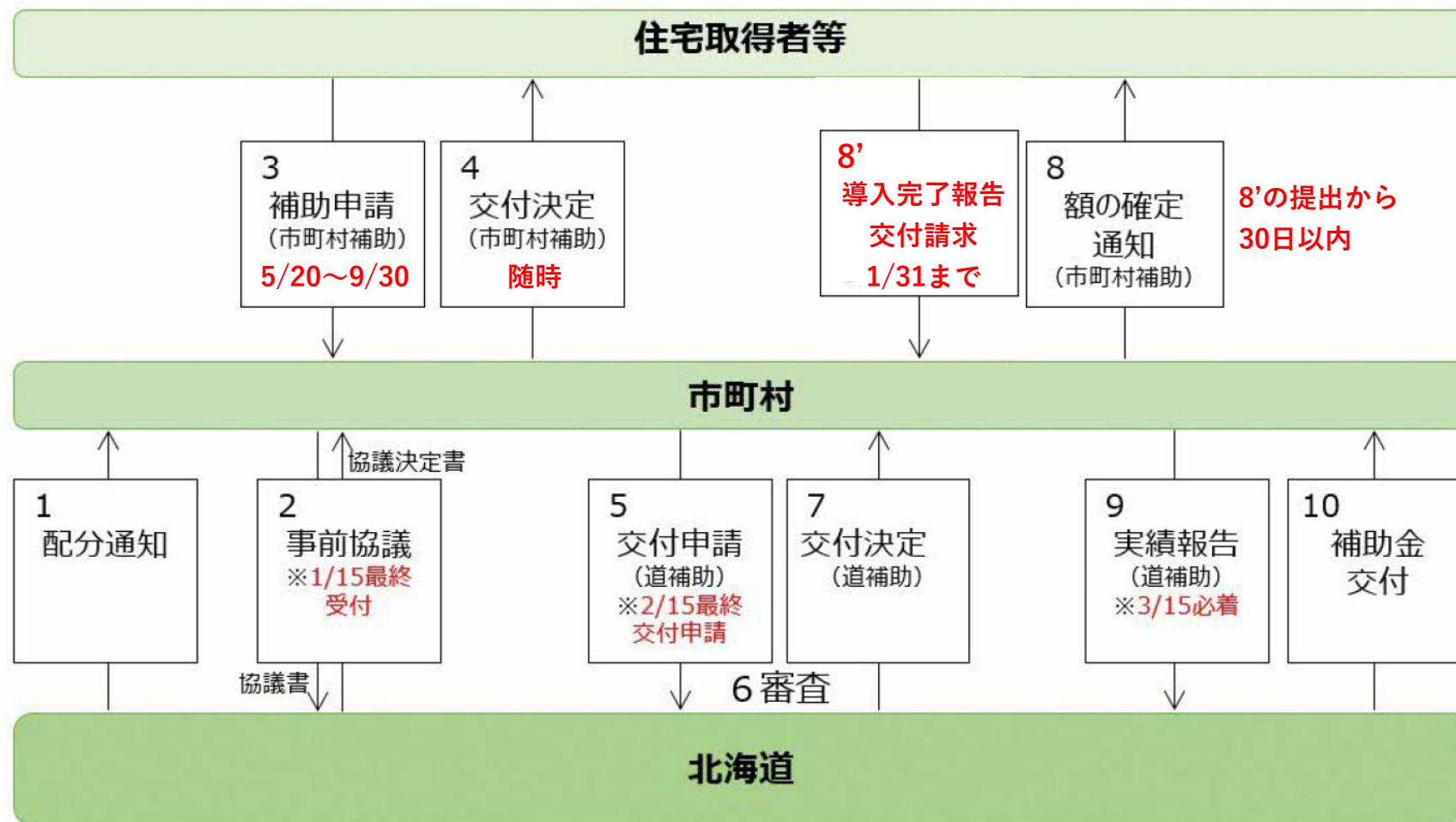
- ☐ 建物全体の断熱改修工事
- ☐ 断熱性能を高める工事(窓、ドア、外壁、屋根、天井、床)

<対象機器>(複数選択可能)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 高断熱浴槽 | <input type="checkbox"/> 電気ヒートポンプ |
| <input type="checkbox"/> 潜熱回収型ガス給湯機 | <input type="checkbox"/> ヒートポンプガス瞬間式併用型給湯機 |
| <input type="checkbox"/> 節湯水栓 | <input type="checkbox"/> 燃料電池システム |
| <input type="checkbox"/> コージェネレーション設備 | <input type="checkbox"/> 空気清浄機能・換気機能付きエアコン |
| <input type="checkbox"/> LED照明 | <input type="checkbox"/> 節水型トイレ |

詳しくは
「申請の手引き」に記載

釧路町デコ活推進補助金 スキーム図



釧路町デコ活推進補助金 R6実績

① 8月14日現在受付状況

全て新築

	申請件数	補助申請額	当初予算額	予算調整	予算残額
太陽光発電	6 件	1,050,000 円	3,000,000 円	- 340,000 円	1,610,000 円
蓄電池	0 件	0 円	1,000,000 円	- 800,000 円	200,000 円
性能向上リフォーム	63 件	13,140,000 円	12,000,000 円	1,140,000 円	0 円

※ 太陽光発電、蓄電池の予算を性能向上リフォームに振って全件採択

② 来年度に向けての課題

- ・ 既設住宅への太陽光パネル設置と蓄電池の設置が0件であったため、原因の究明が必要。
(補助率が低い? 理解が進んでいない?)
- ・ 性能向上リフォームはほとんどがエアコンの新規設置であり、省エネやエネ転に繋げる工夫が必要。
(適応的な観点からは効果的だが…)

反省① 受付開始日の設定と、先着順による受付

- ・ 5月20日を受付開始としたが、先着順という言葉が独り歩きし、朝から多くの申請者が殺到した。
(中には開庁時間前から来ている人も・・・)
- ・ 補助金がもらえるなら工事をするという方もおり、交付決定にスピード感を求められた。

⇒ 来年度は一定程度の受付期間を設けて、申請者を分散させる予定

反省② 家電量販店への説明が不十分

- ・ 町内の家電量販店には事前に伺い制度説明を行ったが浸透しきらず、申請者が補助対象外の機器を購入してしまう等のトラブルが発生した。(発覚後、家電量販店側で返品対応し解決)

⇒ 来年度はより丁寧な説明の機会を設ける予定